



市議会議員  
上田由美子  
☎ 68-2106  
☎ 68-2146



参議院議員  
井上さとし



前衆院議員  
藤野保史

能登半島  
地震

農地の被害  
回復へ要望

農民連  
小矢部支部



桜井市長に農業者が要望=3月6日

1月1日に発生した能登半島地震により、小矢部市内において、農業施設に被害が発生しました。圃場の液状化現象で陥没した穴、沈下した部分があり、畦畔の亀裂や沈下、うねりの被害が判明しています(先週号の『週刊明るい小矢部』で既報)。

農民連小矢部支部(辻慶輝支部長)や農業者の皆さんは、3月6日桜井小矢部市長に、不安の中で春の作業を待つ農家や営農組織の思いを伝え、再生産が可能になるように支援対策を実施していただくよう要望しました。

- 要望内容は次の3項目です。
1. きめ細かい被害調査体制を作り、速やかに被害実態の全容を把握してください
  2. 破損した農地や用水路、道路などの緊急復旧を図る内容を関係者に連絡してください
  3. 地震被害復旧に必要な農業資材・肥料・燃料などの掛かり増し経費への支援を行ってください

この要望に対して桜井市長は、「昨年豪雨災害と同様に、40万円以上の被害は、国・県の補助対象で、査定を受けることになる。13万円から40万円未満は、市単で復旧し、13万円未満は、所有者で対応願いたい、ほとんどは13万円以上と思う」、「小さな被害は、農林課と相談して、エリア指定し、まとめて対応することも考える。建設業者は多忙を極めており、春作業に支障が出ないか心配しているので、早く農林課に報告してほしい」と答えました。

24年度小矢部市予算案(3)

○高齢者補聴器購入費用助成 大幅増額  
216万円

2024年度予算案で、高齢者補聴器購入費用助成金が216万円計上されました。2023年度の当初予算20万円と比較して、大幅な増額となっています。

これは、2023年4月から所得制限がなくなり、助成額も2万円から3万円に引き上げられ、申請を行う人が増えたためです。2023年度の3月補正予算では、260万円増額となり、当初の20万と合わせ最終予算は280万円となります。交付を決定した人数に、これから申請する人数を見込んでの増額であり、これが新年度予算にも反映されたものです。



年金者組合小矢部支部の要望から始まる

高齢者補聴器への助成制度は、年金者組合小矢部支部が要望して2022年4月に実現し、2023年4月に拡充されました。

○中学校の全特別教室に空調を整備  
5459万円

2023年度3月補正予算案で中学校の全部の特別教室(理科室、美術室)に空調整備する費用が計上されています。これにより、中学生の学習環境が向上します。

小矢部市では、小中学校の普通教室の空調整備完了後、特別教室での整備が課題となっていました。2024年度から5年間の総合計画後期実施計画に小中学校の特別教室等空調設備の整備がありました。中学校については、1年早めて2023年度補正予算案に盛り込まれました。

コロナ禍で  
音楽室、理科室に強い要望



かねてから、コロナ禍のもと小中学校の特別教室にもエアコン設置を求める要望が寄せられていました。とくに音楽専科の教師は1日6時間3階の音楽室に閉じ込められるという現状もあり、理科室も火を使うので早くしないと危ないといわれています。音楽室は21年7月末で、残っていた2小学校、4中学校、計6つの音楽室に設置し、全校の音楽室に完備しました。さらに市小中学校長会からは、理科室、ランチルーム、多目的教室などへの設置要望がありました。今回は全中学校の特別教室(理科室、美術室)には完備することになります。

○市役所本庁舎改修へ基本計画、基本設計に  
1500万円

2024年度予算案では、本庁舎整備事業基本計画・基本設計業務委託費等1500万円が計上されています。庁舎整備のための積立金は、24年度予算案では1億円をみており、24年度末には3億5800万円になる見込みです(22年度末残高1億8800万円に、23年度積立金7千万円、24年度1億円を加える)。



裏面に「能登半島地震で被災された方へ、23年度所得で雑損控除」という「しんぶん赤旗日曜版」3月3日付「お役立ちトク報」記事を転載しました。「確定申告 住宅や家財の損失対象、最長5年間繰り越し可能」とあり、税金の申告の際に参考にしてください。